

# 令和7年度 聖籠町文化財調査審議会 会議録

日 時：令和8年3月12日（木） 9時55分から10時50分

場 所：聖籠町町民会館 小ホール

## ○出席者

文化財調査審議会委員 5名出席  
社会教育課事務局 2名出席

## ○特記事項

会議内容は別添の次第と資料のとおり。

令和7年度町内文化財行政の状況と令和8年度の事業案について、別添資料に基づき事務局より説明。

また、蓮池文庫については詳細を知る委員より補足説明をいただいた。

## 以下審議事項

委 員：町内文化財の活用について何か取組は行っているか。また今後行う計画はあるか。

事務局：今年度については行っていない。次年度以降、文化財保存活用地域計画の策定を進める予定である。

委 員：民俗資料館について、雨漏りの影響で展示スペースが減少しているが、見学等の受け入れ態勢は十分か。

事務局：展示スペース、展示品数は以前より減少しているが、内容については少ないスペースでも集約して展示しているため、以前と相違ないと思われる。

委 員：週末体験教室における史跡めぐりの実施回数、参加者数はどうか。また見学場所はどこか。

事務局：令和7年度実施回数は1回、参加者数は20名程度である。見学は宝積院、大野家、位守山、日枝神社等の町内史跡・文化財を訪問した。

委 員：令和8年度より策定予定の文化財保存活用地域計画について、計画の策定においてまずは体制を整える必要がある。上位計画や関連計画を網羅的に拾い上げ、整合性をとる必要があるが、委託等は考えているか。

また策定委員には町関連部局の職員もはまることはあるか。

事務局：委託は行わない。観光部局については策定委員をお願いする予定でいるが、庁内の調整等については、策定委員会と別にワーキンググループを設けて実施する予定。

委員：民俗資料館の見学対応について、周辺市町村からも多く訪れているようだが、何か理由はあるのか。

事務局：町民俗資料館の展示は生業や生活に関連する民具について使用されていた当時の状況を可能な範囲で再現した展示を行っており、近隣でそのような展示をしているのは当町のみである。

そのような点が評価していただけているのではないかと思います。

委員：令和8年度の週末体験クラブの見学予定に新潟県埋蔵文化財センター見学予定とあるが、地域の歴史に親しむ機会も設けてほしい。

事務局：資料には記載していないが、例年行っている「町内史跡めぐり」も引き続き実施予定である。

委員：蓮池文庫について、新潟県史作成の際にも引用に用いられたような貴重な図書も保管されているため、是非進めていただきたい。

事務局：次年度に現地調査を行い、随時目録等の作成を行いたい。